

# 社会科学習指導案

日時 平成18年 1月15日(木) 5校時

学級 3年5組(男子19名女子17名 計36名)

授業者 瀧澤郁子

## 1 単元名

第3章 わたしたちの暮らしと経済 「1 暮らしを支える経済」

## 2 単元について

### (1) 教材観

本単元は指導要領の大項目(2)「国民生活と経済」の中の中項目「アわたしたちの生活と経済」に含まれる内容である。

この単元では「身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解させるとともに、価格の働きに着目させて市場経済の基本的な考え方について理解させる。」ことや「現代の生産の仕組みのあらましや金融の働きについて理解をさせるとともに、社会における企業の役割と社会的責任について考えさせる。」こと、またその際、「社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について、勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神と関連づけて考えさせる。」ことをねらいとしている。

日本は戦後の復興を成し遂げたあと、次に経済の回復が見られ、高度経済成長を経て、現在では物質的な面での豊かさや繁栄が見られるようになってきた。また、貿易や人の動きなど、国際化の時代とされている。その中で、公害や環境・資源・エネルギー問題など様々な問題も見られるようになってきた。

本単元ではこのような現在の日本の状況において、個人や企業、地方公共団体の経済活動を取り扱う。生徒の身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解させること、市場経済の基本的な考え方を理解させること、現代の生産のしくみのあらましについて理解させること、市場のはたらきにゆだねることが難しい諸問題に対して国や地方公共団体が果たしている経済的役割について考えさせることなどが、おもなねらいである。このような経済活動が我々の社会生活のあらゆる面で密接な関わりをもっていることを踏まえながら、経済活動の意義をとらえさせると共に、今日の経済活動に関する諸課題に着目させ、自ら考えようとする態度を育てるものとする。

### (2) 生徒観

生徒の意識調査をしてみると、社会科の授業に意欲的に臨んでいる生徒は約70%いる。一方で、約30%の生徒は「難しい」「よくわからない」「覚えるのが面倒」という理由から、意欲をもてずに授業に臨んでいることになる。また、意欲的に臨んでいる生徒の中にも歴史は好きだが、公民は苦手だと答えている生徒も少なくない。

思考・判断を必要とする学習や資料の読み取りについては苦手意識が特に大きく、授業中の発言も明らかに減少する。グループ学習でも自分の考えを発言しようとする生徒も多い。

定期テストの結果からは単元テストとの類似問題の正答率が高いが、新傾向で、資料を盛り込んだ出題になると正答率がぐっと落ちる。歴史用語と比較して、公民学習で出てくる政治・経済用語の定着も低い。

現代社会の豊かな物質文明の中で生活し、たくさんの情報に囲まれ生活していながら、経済の特色については興味・関心が少なく、知識も断片的で、経済活動が社会生活において密接な関わりをもっていることを実感できていない。金融に関してのアンケートでは自分の預金通帳をもっており、銀行に行ったことがある生徒は約60%ほどいるが、実際に行われている仕事についてはほとんどよくわかっていない状況であった。また、経済用語「利子」を正しく読めた生徒は、60%いるが、中には「としこ」「りこ」と平気で読む生徒もいる。また、「公定歩合」を正しく読めた生徒は0%であり、日常生活の中であまり耳慣れない用語について、授業後の定着もこれからの課題である。

### (3) 指導観

生徒観でも述べたように、身近な経済活動についても断片的な知識にとどまっており、経済活動が社会生活において密接な関わりをもっていることを実感していない。

経済の基本的なしくみの学習ではあるが、将来、生徒の多くは労働者として何らかの職業に就き、経済活動に参加する。そのため、生徒が労働者として、職業の意義や役割、雇用と労働条件の改善、勤労の権利と義務、労働組合の意義や労働基準法の内容など、政治学習と結びつけながら、指導を行う必要もある。

網羅的で高度な扱いにならないよう特に配慮すると共に、身近で具体的な事例を取り上げ、経済活動が様々な条件の中での選択を通じて行われるという点に着目させて、市場経済の基本的な考え方を理解させたい。多角的・多面的に資料をとらえていくための視点を身につけさせ、下位の生徒でも興味・関心をもって学習に臨めるように、日常生活と接点のある資料の提示を工夫する。わかりにくい内容は図で示し、理解を促したい。また、内容の定着のために、新しく学習する用語の音読やドリル学習、授業のまとめを転写で取り組ませ、学習の定着とを図りたい。

特に、金融の働きについては家計の貯蓄などが企業の生産活動や生活の資金として円滑に循環するために、金融機関が仲立ちしていることを具体的例をあげて取り扱い、金融の働きについて大きくつかませていきたい。

## 3 単元の指導目標及び評価計画

### (1) 単元の指導目標

身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解し、価格の動きに着目して市場経済の基本的な考え方について理解できる。

現代の生産のあらましや金融のはたらきについて理解し、社会における企業の役割と社会的責任について考えることができる。

### (2) 指導計画と評価計画

時	指導内容	観点別評価規準(重点)			
		関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
1	暮らしをみつめて ・ 経済との出会い ・ 経済とはなんだろう ・ 経済について考える	経済のはたらきについて身近な生活と結びつけて、以後の経済学習に関心を高めることができる。			財とサービスの供給と、私たちが行う消費活動とがスムーズにつながるしくみを、経済の三主体を中心に理解することができる。
2	消費と暮らし ・ 消費と選択 ・ 消費と家計 ・ 支払いの手段		具体的な場面での消費活動のシミュレーションをすることで、実生活におけるさまざまな条件の中で、的確な選択を行うことができる。	私たちが行う支払いの手段について調べ、その問題点について考えをまとめることができる。	
3	消費者の自立 ・ 消費者をめぐる問題 ・ 消費者の権利と保護	生活密着した事象としての消費者をめぐるさまざまな問題に関心をもち、消費者としての立場から意欲的に学習に取り組もうとする。	消費者の権利や消費者保護の諸法律が必要とされる背景について考えたとともに、自立した消費者とはどのような存在かを考えることができる。		
4	ものの価格の決まり方 ・ せりと市場 ・ 需要と供給		市場のはたらきの中で価格がどのように決まるか、そのメカニズムについて考えることができる。	市場経済のもとでは、商品の価格は需要と供給の関係によって決まることをグラフを読みとりまとめることができる。	

5	市場は万能ではない ・独占と寡占 ・公共料金 ・万能ではない市場		市場が寡占や独占の状態の時、価格がどのように決まるのか、そしてそれが私たち消費者にどのような影響を及ぼすかを考えることができる。	市場がうまくはたらかない独占価格と、市場の自由にまかせてしまうことができない公共料金について、グラフを読みとり、発表できる。	
6	企業はさまざま ・企業のはたらき ・生産と流通 ・大企業と中小企業	企業に関して学習したことや考えてことなどを、積極的に発表しよとすることができる。			資本主義のしくみを、生産・流通・消費の中で、生産者(企業)と消費者(家計)との関係から理解できる。
7	会社のしくみと役割 ・株式会社とは ・株主と株価 ・企業の社会的責任	企業の「社会的貢献」に関してなど、与えられた課題に対して自分の力で考えようとするができる。			株式会社のしくみについて、株主と株主総会などの役割を具体的に理解することができる。
8	資金の貸し借り ・金融の役割 ・銀行の役割		貸し付け利子と預金利子の差額から銀行が利潤を得ていることに気付くことができる。		利子のはたらきを考えながら、銀行の業務やその果たす役割を理解することができる。
9	・日本銀行		公定歩合を上下することで、どのような効果が生まれるかを考えることができる。		日本銀行の果たす役割を理解することができる。
10	変わる産業 ・産業構造の変化 ・経済のソフト化 ・国教をこえる経済			技術革新や情報化などの経済のソフト化と第二次産業の実態について理解し、発表できる。	日本の産業構造の変化を読みとり、その問題点を理解することができる。
11	資源をむだなく ・食料と環境の問題 ・資源・環境問題	食料・環境問題について関心をも、図書館やインターネットなどを利用してさらに調べようとする意欲をもつことができる。	環境破壊の原因とその影響について考えるとともに、現在の、そして将来の自分にできることは何かを考察し、実際の生活で実現しようとする。		

#### 4 本時の指導

##### (1) 本時の目標

- ・ 一般銀行が行っている仕事に預金と貸付があることを理解できる。  
【社会的事象についての知識・理解】
- ・ 利子のはたらきを考えながら、一般銀行の利潤のしくみを考えることができる。  
【社会的な思考・判断】

##### (2) 本時の評価規準

評価の観点	評価基準	具体的評価規準		C 努力を要する生徒への指導の手だて	評価場面(方法)
		A 十分満足できる	B 概ね満足できる		
社会的な思考・判断	貸し付け利子と預金利子の差額から銀行が利潤を得ていることに気付くことができる。	貸付利子を預金利子よりも大きくすることで銀行が利潤を得ていることに気付き、発表できる。	貸付利子を預金利子よりも大きくすることで銀行が利潤を得ていることに気付く。	説明をわかりやすく工夫し、貸付利子を預金利子よりも大きくすることで銀行が利潤を得ていることに気付かせる。	話し合い、行動観察

社会的事象についての知識・理解	一般銀行が利潤を得ている仕事を理解できる。	一般銀行が利潤を得ている仕事として貸付利子と手数料をあげ、その内容を理解できる。	一般銀行が利潤を得ている仕事として貸付利子があることを理解できる。	利子、貸付の意味を理解できるような音読、反復学習を取り入れる。	発言、音読、プリントへの記入
-----------------	-----------------------	--	-----------------------------------	---------------------------------	----------------

##### (3) 研究内容との関わり

###### ア 本時の基礎・基本

貸し付け利子と預金利子の差額から銀行が利潤を得ていることに気付くことができる。

【社会的な思考・判断】

経済用語や重要語句を意味を理解した上で、一般銀行が利潤を得ている仕事を理解できる。

【社会的事象についての知識・理解】

###### イ 定着を図る指導の工夫

転写法...本時の学習内容を振り返り、ノートにまとめ定着を図る。

音読...経済用語や重要語句について音読を取り入れることで、内容の理解や定着を図る。

反復...資料や定着のためのプリント、ノートの活用を通し、経済用語や重要語句を繰り返し音読したり、繰り返し書いたりすることで内容の定着を図る。また、関連のある既習内容を振り返り、さらに定着を図る。

###### ウ 動機付けの工夫

興味・関心...写真資料やアンケート、目にしているものの普段あまり意識していない資料を活用し、自分達の生活との関わりに気付かせ、学習に意欲的に取り組ませる。

有能感...様々な形態を取り入れた音読をすることで、一人一人がいきいきと経済用語を覚える場面を設定する。

##### (4) 展開

段階	学習内容・学習活動	指導及び支援の手だて ○指導の留意点 支援	評価 具体的評価基準 (評価場面)	研究内容との関わり
導入	1 写真を見て、写真の人物はどこ	○写真資料の着目点を簡単に説明する。		動機付け

10分	<p>で働いているか予想を立て、ノートに書き、発表する。</p> <p>2 学習課題を設定する。</p>	<p>○全員起立させ、写真を見て、予想した職場をノートに書かせる。</p> <p>○銀行の通帳を取り上げ、銀行に「お金を預け、利子をもたらしている」ことを確認し、銀行はどのようにもうけているのか疑問をもたせる。</p> <p>図を示して、イメージをつかみやすいようにする。</p> <p>○学習課題をノートに書かせる。</p> <p>音読した上でノートに書くように促す。</p>		反復
銀行はどのようにしてもうけているのか。				
展開 30分	<p>3 銀行の仕事内容をもうけをもとに班毎に分類し予想する。</p> <p>4 銀行がもうけを得るためにどのような仕事をし預金利子と貸付利子の関係がどのようになっているか、資料から考え、確かめる。</p>	<p>○事前のアンケートをもとに、生徒が銀行のもうけと考えたものの中から、本当にもうけであるものとそうでないもの、全くの間違いであるものごとに、班毎に分類させる。</p> <p>話し合いが進まない班には日常生活から考えるよう促す。</p> <p>○資料のレポートをペアで音読させ、銀行のもうけとして、貸付利子と手数料があり、もうけの多くは預金利子と貸付利子の差額から生まれることに気付かせる。</p> <p>学習課題を意識して音読するように指示を出し、社会的な思考・判断を促す。</p> <p>○貸付利子と預金利子関係を音読・反復によって、定着を図る。</p>	<p>【社会的事象についての知識・理解】</p> <p>A 銀行のもうけが貸付利子と手数料によることを資料から、理解できる。</p> <p>B 仕事内容の中に預金と貸付があり、その仕事内容を理解できる。 (話し合い、行動観察)</p> <p>【社会的な思考・判断】</p> <p>A 貸付利子を預金利子よりも大きくすることで銀行がもうけを得ていることを資料を読んで正しく判断できる。</p> <p>B 貸付利子を預金利子よりも大きくすることで銀行がもうけを得てい</p>	<p>動機付け</p> <p>音読</p> <p>音読 反復</p>

			<p>ることを班の話し合いを通して正しく判断できる。 (話し合い、行動観察)</p>	
<p>終 結 10 分</p>	<p>5 本時の学習課題の解決について確認し、ノートに書いてまとめる。</p>	<p>○本時の学習課題の解決を確認し、ノートにまとめさせる。</p>		<p>転写法</p>
	<p>まとめ 銀行は貸付利子を預金利子よりも大きくすることで もうけている</p>			
	<p>6 理解したことをノートにまとめることができたか、自己評価する。</p>	<p>本時の学習内容を自分の理解にあわせて転写するよう促す。</p> <p>○本時の授業に対する関心・意欲・態度をチェックし、知識・理解についてノートに自己評価する。</p>		